

【北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会】会議概要

会 議 名	北鹿浜小学校と鹿浜西小学校の統合地域協議会第12回全体会議
事 務 局	学校運営部学校施設管理課
開催年月日	令和4年10月18日（火）
開催時間	19時04分～20時00分
開催場所	鹿浜西小学校体育館
出席者 （敬称略）	<p>【統合地域協議会委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北鹿浜小学校 渡邊 淳子、矢部 俊久、添田 陽子、鹿浜 武夫、矢萩 惠一、 本庄 一広、鹿俣 昇、新井 雅晶</li> <li>・鹿浜西小学校 野辺 陽子、鈴木 健治、松村 哲男、竹内 桃子、山下 宗孝、 奥井 秀美</li> </ul> <p>【校歌制作者】 佐々木 祐子</p>
	<p>【足立区】</p> <p>学校運営部長 森 太一 学校施設管理課施設管理係長 岡田 聡 適正配置担当係長 角谷 暢彦、大高 隆寛 西部地区建設課長 大塚 進 建築第一係長 渋川 幸、建築第一係主任 和泉 景子</p>
会議次第	別紙のとおり
資 料	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 次第</li> <li>2 鹿浜未来小学校新築工事現場の状況及び仕上げ計画書【別添資料】</li> <li>3 鹿浜未来小学校校歌（案）【資料1】</li> <li>4 公募で寄せられた校歌のフレーズ・歌詞一覧【資料2】</li> <li>5 現在の両校の校歌【資料3】</li> </ol>
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 傍聴者はなし</li> <li>・ 次回は令和4年11月に北鹿浜小学校の体育館で開催予定</li> </ul>

## 様式第2号（第3条関係）

（審議経過）

校歌案について

### ○野辺（陽）議長

それでは只今から議題に入らせていただきます。それでは校歌案についてということで、本日は作曲・作詞をしていただきました、佐々木祐子先生にお越しいただいております。皆さまのお手元にあります資料1が、佐々木先生が作詞された校歌案になります。それでは佐々木先生をご紹介しますでしょうか。佐々木祐子先生です。よろしく願いいいたします。

### ○佐々木先生

皆さんこんばんは。4年前までかな、鹿浜西小学校のほうで音楽の教師をさせていただいて、今は北区立岩淵小学校で音楽の教師をしております佐々木と申します。この度は校歌の作成という大きな任務をお任せいただき、とてもありがたい気持ち、そして期待に応えられるように頑張りたいなということで制作してまいりました。今日持ってきたのは案という形で私なりに最善を尽くして考えたものではありませんが、まだ決定ではないというところで、皆さまからご忌憚のない意見をいただき、もう少し微調整をして最終的に完成にもっていけたらいいかなと思っております。どうぞよろしく願いいいたします。

### ○野辺（陽）議長

ありがとうございます。それでは続いて曲のほうを聴いていただきたいと思えます。準備ができましたらよろしく願いいいたします。

### ○佐々木先生

ではお手元の歌詞又は楽譜のどちらかご覧になりやすいほうを見ていただきながら願いいいたします。

（曲を再生）

### ○野辺（陽）議長

ありがとうございました。ここで先生がどんな気持ちで作曲・作詞をされたかちょっとお伺いしたいと思いますので、願いいいたします。

### ○佐々木先生

歌詞の面では、まず1番では鹿浜の地の豊かな自然の中ですくすくと育っていく子どもたちというものを描けたらいいかなと思いました。というところでホームページのほうに寄せられた言葉からも抜粋をして使っていますが、必ず荒川は入れたいし、あと広々とした、伸び伸びとしたというようなイメージが持てるような歌詞にしました。そして2番ではやはり学校というのは人と人とのつながり、そこが大きく成長させてくれるものだと思うので、仲間そして先生方、全てが宝物というところを入れて、さらに未来に向かって、校名にも未来小はありますが、そこも掛け合わせて現在から未来へ向かって進んでいくというような内容にしました。音楽的などころで言いますと、校歌なのであまり長すぎず、そして覚えやすいようにというところであまり古めかしいと言っては言葉がちょっと語弊があるかもしれませんが、児童に馴染みやすいようなメロディーラインで考えました。それと音域ですね。子どもたちの声に合わせてあまり高い音を入れないで、元気に歌える感じの音域にしたつもりです。これをまあ小学生を長いこと見てるので多分これでいけるかなというように実感はありますが、はい、以上です。

### ○野辺（陽）議長

ありがとうございます。それでは皆さんお聴きになって、どこが良かったとか、ちょっとここはこうのほうがいいんじゃないとか、また歌詞においてこれはどう

でしょうかねという考えがありましたらぜひお聞かせいただきたいと先生のほうからおっしゃっていましたので、よろしくお願いいたします。いかがですか。

#### ○矢萩委員

良い曲だなという感じを受けました。明るく朗らかな感じを受けたし、軽やかで、最後までこまでも未来に向かって夢があるような、良いかなと思うんですが、いくつかちょっとすみません、気になる場所がありまして、「無限に」の最初の出だしが、いいか悪いか分からないんですけど、低学年にはやっぱり難しいんじゃないかという感じです。簡単に「高く広がる」でも小学校ならいいんじゃないかというぐらいに考えています。それから気になるのが「ぼくらのまち」「ぼくら」と両方ともぼくらぼくらなので、男子校ではないかと一瞬考えてしまうようなところがあるので、ではどうしたらいいんだろうかと。最近では女の子でも「ぼく」だなんて言う人もいるから悪いとは言えないかもしれないけど、どちらかを「私たち」とかにするか、その辺ちょっと議論したいなと思ったところです。

#### ○野辺（陽）議長

ありがとうございました。他に何かご意見ありますか。

#### ○鹿浜委員

音楽は全然分かりませんが、この歌詞の一番最後の「鹿浜未来小」で終わるのではなく、「学校」を入れてはどうでしょうかね。ただ「未来小」となると、何か抜けているような気がするのです。

#### ○野辺（陽）議長

ありがとうございました。私もそう思ったんですけど、鹿浜西小学校の校歌は最後「鹿西校」で終わっています。そういう言

い方もあるのかなと思いました。他にご意見いただきたいと思いますが。

#### ○鹿俣委員

私も同じで「ぼくら」というのはやっぱりあれなので、ここを「みんな」に変えたらどうかかなと思いました。あと、「勇ましい」というのが、あまり勇ましくてちょっと心配な部分もあるので、ちょっと他の歌詞とのつながりもあるので、一番が「歩きだそう」だから「優しい心をもって」にして、2番が走りだすのにくねくね曲がりくねってではなくまっすぐに走ってほしいんだと思うので、「まっすぐな心をもって」というのはどうかかなと。それからやっぱり「小学校」まで入れられたらなと思って今考えているんですけども、そうすると「どこまでも」とか「力合わせ」を抜かすと「未来に向かってはばたこう 鹿浜未来小学校」「未来に向かって共にゆこう 鹿浜未来小学校」あたりだと曲の長さとしても収まりが良いかなと思いました。とても聴いていて耳にやさしくてすごく良いなと思いました。ありがとうございます。

#### ○野辺（陽）議長

ごめんなさい、私、聞きそびれてしまったんですけど、「鹿浜未来小」というところを「鹿浜未来小学校」にしたかどうかということでしたかね。

#### ○鹿俣委員

はい。

#### ○野辺（陽）議長

他にご意見ございませんでしょうか。

#### ○添田委員

私も皆さまが言われたとおり、「ぼくら」というのがちょっとどうなのかなと。今のご時世、ちょっと違う表現がいいのかなと思ったのと、やっぱり「未来小学校」と学校まで入れたほうがいいかと思いま

した。あと、2番の「優しく厳しい先生」。本当に優しく厳しい先生はごもつともなんですけれども、「厳しい」という活字がちょっと見た目にインパクトがあって、そうなんですけどちょっと違う表現がいいのかなと思いました。

○野辺（陽）議長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。

○松村委員

「勇ましい」というのは何が勇ましいのかな。2番の。これ、どういうことなのかね。

○佐々木先生

何かこう困難なことにもめげずに、折れずに自分たちの目標なり夢なりに向かって突き進む力というような意味合いで。

○松村委員

勇ましいというのはいろんな表現があるんだけどね。

○佐々木先生

そうですね。

○松村委員

何か人に見せようとバーっとやったのも勇ましいとかね。別に勉強だけではなくてね。例えばケンカなんかして真ん中に止めにいったらあれ勇ましいやつだなんてそういうのもあるわけだよね。何か先ほど校長先生が言ったのも勇ましい。あと他はもう分からない。これだけ。後は何もないです。

○野辺（陽）議長

ありがとうございました。他にはどうでしょう。鹿西の山下校長先生、いかがですか。

○山下委員

とっても良い校歌を作っていただいてありがとうございます。本当に爽やかで明

るく、何か勇気が出るような曲でとっても良かったと思います。やっぱり「学校」がというのは私もそうですけれども、それで今、皆さんがおっしゃったところと大体同じです。「ぼくら」のあたりもそうですし。今考えていたんですけれども、確かに「優しく厳しい」は「厳しい」がちょっとこの時代での、添田委員がおっしゃるように、本当にこれはすごく良い内容だと思うんですね。やっぱり温かさと、いや、子どものために想う厳しさと、両方というのはとってもよく分かるんですが、こういう文言に「厳しい」というふうになってしまうと厳しいのかなと。じゃあどういう言葉がいいのか今ちょっと考えていたんですが、まだすみません、浮かばない状態です。でも、内容としてはとっても良いと思います。ありがとうございます。

○野辺（陽）議長

ありがとうございました。大体もう皆さんおっしゃることは共通していると思いますけど、今伺ってみますと、1番の「無限に」というのは子どもにとってはちょっと難しいかなと。おっしゃるように「高く」ぐらいがいいかなという意見がありました。それから「ぼくら」ですが、特に今の時代はいろんな方がいらっしゃるから、気持ちとしては分かりますけれども、何か他の言い方があったら一番とは思いますが。それから「厳しい」というところと最後の「勇ましい心」。気持ちも分かりますけれども、何となく軍歌みたいなイメージになってしまうかなと思うので、もう少しやさしい言葉があったらいいのかなと。あとは「未来小」で終わらずに「小学校」がいいなという意見が多かったようです。他にございますか。いいですか。では皆で少し考えてみますか。出だしは「無限に」という

ところを矢萩委員は「高く」でも良いのではないかという意見でした。「無限に」というのはどういう気持ちが入っているのでしょうか。

○佐々木先生

「果てしなく」というような意味合いです。

○野辺（陽）議長

どうでしょうか。「無限に」というのは難しいのかなというところですが、今は決めなくてもいいんですけれど、この後、こんなのがいいんじゃないかというのが出てきましたら。では「ぼくら」に関してはどうですかね。うまく文字が合うかどうかにもよりますが、3文字しか入らないので。「みんなのまち」は。

○佐々木先生

「みんな」でもいけますね。

○野辺（陽）議長

「みんな」の他にはどうでしょうか。

○添田委員

「私たち」だと字余りか。

○渡邊会長職務代理

字余りになってしまう。

○野辺（陽）議長

「厳しい先生」というのはどうか。

○鹿俣委員

「やさしく熱い先生」とかは。ちょっとあれですかね。

○野辺（陽）議長

今、「熱い」というご意見がございました。どうでしょうか。

○矢萩委員

「厳しい」でもいいんじゃないですか。ただ、漢字にしないで、平仮名にして。

○野辺（陽）議長

「厳しい」のままでもいいんじゃないかと。

○矢萩委員

「厳しい」のままでも平仮名でやると多少バランスは良くなるかと。

○野辺（陽）議長

平仮名にすれば厳しくなくなりますか。

○佐々木先生

ここは本当に私も実は迷ったまま皆さんに見ていただいているというのがあって、「優しく厳しい」「ぼくら」とかそういうところも、実は「勇ましい」もそうなんですけど。なので、逆にここでこうやってご意見いただいて、やはり再考すべき場所だなどはあらためては思いますが、「厳しい」に近い意味合いを入れ、ただ優しいだけではないというところで、でもそれはみんなに対する愛があるからだよというところを何とかして入れたいという想いで夏から考えて、今明確にこれ以外の言葉が探せずにいるというのが現状です。なので確かに「厳しい」が漢字でなくなっただけで少し柔らかい印象になりますので、それで良ければですし、何か他にあればまたおっしゃっていただければと思います。

○野辺（陽）議長

ということですがけれども、代案がないと変えられないですよ。

○佐々木先生

あつた方がありがたいんですけど。

○野辺（陽）議長

「厳しい」または「熱い」。ちょっと考えどころですよ。それから最後から3番目の「勇ましい」というところはどうでしょうか。

○佐々木先生

先ほど校長先生からご意見いただいたときに、1番の「まっすぐな心」を「優しい」というような意味合いで、2番で「勇ましい」ではなく、まっすぐに走ると

というような意味合いで「まっすぐな心」にしてはどうかというふうにご意見いただいて、それだといいかたと私個人は思ったのですが、2番の「勇ましい」はなくして2番で「まっすぐな心」。で、1番のときは「優しい」というのは言っていたのですが、もしかしたら語呂的には「温かい」とか。「優しい」で歌うと「さあ歩きだそう 優しい心もって」こんな感じに。全然大丈夫だと思うんですけども。で、「温かい」だと「さあ歩きだそう 温かい心もって」このような感じになります。「優しい」だと4文字なので、少し音楽用語で休符、お休みが長めになることで、子どもたちが覚えるまでにちょっと時間がかかるかもしれませんが、どちらでも大丈夫です。

○野辺（陽）議長

「まっすぐな」のところは「温かい心もって」、2番のほうは「優しい」にする。

○佐々木先生

（2番は）まっすぐな。

○野辺（陽）議長

こっちが「まっすぐな」か。そうか。1番が「温かい心もって」、2番が「まっすぐな心もって」というふうになりましたけれども。

○新井委員

「温かな」のほうがいいんじゃないですか。

○佐々木先生

なるほど。あとはちょっと今この場で皆さま方にご相談したいんですけど、正にこの場所ですね。1番の歌詞のときに、なぜここで「まっすぐな」というのはやはり空を突き抜けるようなとか、広々とした自然の中でまっすぐな、歪みのない心でという意味合いが私の中ではあって「まっすぐ」にしたんですね。で、2番にそれをもって

いく、今そういうことを私自分で言いましたが、もってくるまあちょっとそこは離れてしまうんですが、歌詞の内容で言うと2番のほうがむしろ「温かな」が合うような気がします。先生方や仲間たち、そういう人との絆を胸に持って温かな心でというのもいいのかなと今思ったんですが、皆さま方いかがでしょうか。

○野辺（陽）議長

私もそう思ってしまおうんですけど、（1番が）まっすぐな心で、（2番が）温かいとしたほうがいいような気がします、いかがでしょうか。良さそうですか。それで最後の「鹿浜未来小」を「小学校」をどうしても入れたいというのはどうですか。

○佐々木先生

それはちょっと私のほうで旋律のラインを調整することで入れられるような気もしますので、最後。今この場でこうなりますとはちょっとお伝えできないんですが、持ち帰らせていただいて「鹿浜未来小学校」になるように少しメロディーラインを調整したいと思います、それでもよろしいですか。

○野辺（陽）議長

よろしいですか。皆さんよろしいということで、今すぐということではなく、先生がもう1回あらためてくださるということで、それでよろしいですか。

（異議なし）

その他に何かありますか。全体で。ご意見ありましたらお伺いしたいと思います。

○矢萩委員

2番の「たからもの」は平仮名なんですけど、何かあるんですか、考えが。漢字でもいいわけですか。

○佐々木先生

そうですね。漢字でもいいです。漢字でいきますか。

○矢萩委員

どちらでもいいわけですか。

○野辺（陽）議長

「だから」だけですか。他にはよろしいですか。

○新井委員

ありがとうございます。とってもいい歌だと思います。今ちょっとここで先ほどの「厳しい先生」の話が出たんですが、学校って子どもの仲間たちと先生だけでなく、いろんな方が関わっていると、先生だけに特化する必要はないのかなと思うと、「厳しい」という言葉は要らなくなる可能性がありますよね。ちょっと何か先生や何々というふうにと考えると、「優しく厳しい」という形容詞がもしかしたら別のものに変えられるかもしれないなと思いました。

○野辺（陽）議長

「厳しい」の代わりに先生だけでなく地域の方々というような言葉を入れたらどうか、ということですか。

○新井委員

そうです。

○佐々木先生

ちょっとお知恵をいただきたいのですが、やはり考えたときにですね、本当にそれで、先生たちだけではなくて主事さん方とか、学校で言ったら他にも支援して下さる方って、家庭の、おうちの人、地域の方々がいっぱいいて、その方々を包括する言葉というのが自分でちょっと難しかったなというところがあります。「地域の人たち」とかを校歌に入れるわけにもいかなないというところで、じゃあどういった言葉でそのような方々を形容できるかとい

うところが正直難しいので。言っていたいたことはすごくよく分かるし、入れたいのですが。

○矢萩委員

今のところで、やっぱり学校の校歌なんですよ。子どもたちにとっては先生が一番なんですよ。だからやっぱりここは「優しく厳しい先生」でいいんじゃないかと私は思います。地域の方とか主事さんとかいろいろありますけど、「出会ったすべてが」という言葉がそこにありますので、そこに表現されているからそれはいいんじゃないかと私は思います。

○野辺（陽）議長

今、矢萩委員のほうから、これは校歌なんだから、学校の歌ということで、地域の方たちを入れたいけれども、やはり先生は先生でいいという意見でした。どうでしょうね。確かに地域って私たちみたいなものですけども、私たちは学校のために頑張っているだけで、子どもたちのために頑張ろうとは思いますが、そういう意味であまり……。もうちょっと考えていただいて、少し時間をおいてまた会を開きたいと思いますので、その時に良いか悪いか判断を下していただければと。今日は一応（曲を）聴いていただいて、皆の心にどんな曲かなというのが残ればいいかなと思います。（それでは）もう一度かけていただいてもいいですか。

○佐々木先生

はい、分かりました。  
（曲を再生）

○野辺（陽）議長

お聴きになっていかがでしたか。何かいいですよ。

○山下委員

あらためて聴くと、頭の「無限に」とい

うのは、すみません、ここは矢萩委員の主張と違うんですけども、言葉は確かに低学年の子には難しい言葉ですけれども、今やっぱり曲を通して聴いてみるとすごく自然だし、内容としてやっぱり整合性があるというか、筋がやっぱり通っている、歌詞の内容的に通っているなというのがあるので、すんなり入ってくるんですね。なので、こういう言葉があってもいいのかなと私は思いました。例えばちょっと種類は違うかもしれないんですけど、鹿浜西の校歌は「あけそめる」とか「むかししのびて 名はのこる」とか、そういう少し子どもにはすぐにはちょっと難しい言葉遣いかもしれないけども、やはり親しんでいく、それを段々理解していくというプロセスもすごく大事なので、この1番の歌詞に沿った内容として「無限に」というのはすごく合うのかなと思うし、難しかったらそれを補ったり、段々理解していくことでもいいのかなと私は思います。すみません、矢萩委員。ただ、もう一ついいですか。さっき私が言ったことと矛盾するんですけども、「優しく厳しい先生」ってずっと「厳しい」の代案を考えていたんですけども、今出ないです。そうすると「優しく厳しい」というのはいいのかなと。あえて。すごく。またそういう校歌ってあまりないかなと。とっても教育の、ある意味本質的なところを突いていて、あえて斬新なのか伝統的なのかちょっと分からないですけども、さっき言ったこととちょっと考えているうちにちょっと考えが変わってきて、あらためて聴いてみるととてもいい内容、やっぱり曲調、この流れの中で聴いてみると少し違う感覚を持ちました。そんな気持ちになりました。

○野辺（陽）議長

ありがとうございます。それぞれいろんな意見があると思いますけれども、少し時間をおいて、もう一度皆さんのおうちでよく考えていただいて、また次回に教えていただくということでもよろしいですか。それでは佐々木先生、どうもありがとうございました。またいろいろと注文が入りますけれども、あらためてよろしく願います。

○佐々木先生

こちらこそよろしく願います。

○野辺（陽）議長

どうもありがとうございました。皆さんもいろいろと聴いていただいて段々と表現が頭に残っているような気がするんですが、良い感じだと思いますが、先ほど言ったような、またあらためてお考えをお聞きしたいと思いますので、次回までにまとめておいていただければありがたいと思います。今日は一応ここまでということで、ありがとうございます。お疲れ様でした。

（一同拍手）

（議事終了）

以上